OUR SPORTS 新日本スポーツ連盟東京都連盟

〒170-0013 豊島区東池袋 2-39-2
大住ビル 401
TEL: 03-3981-1345 FAX: 03-3981-8315
E-mail njsf@tokyo.email.ne.jp

5 月号 2009 年 5 月 15 日

異議あり！ 2016 石原オリンピック集会

１６０名の参加で成功！ マスコミも注目！

異議あり !2016 石原オリンピック集会

４月１４日文京区民センターにおいて、「異議あり！２０１６石原オリンピック」集会が開催されました（以下、４・１４集会）。東京都のオリンピック招致については、「招致推進」の大宣伝が一方的に発信されている一方で、「３兆円の経済効果」「コンパクト」などのうたい文句は鵜呑みにできるものではありません。４・１４集会は、招致に関わる具体的な検証を通じて、オリンピックとスポーツの問題について、広範な団体と協議し、認識を深める貴重な機会となりました。

4 月 17 日会場視察に訪れたＩＯＣのメンバーにアピール

講演する和食昭夫全国連盟理事長

今回の集会は、オリンピズムの根本原則に共感し、その運動を推進する立場から、2016 年の東京招致については反対するという一致点のもと、開催されました。この取り組みには、新日本スポーツ連盟東京都連盟と自由法曹団東京支部の呼びかけによって１１団体が、実行委員会、呼びかけ団体、参加団体として参加しました。その出発点は、昨年 12 月に行われた意見交換会で、「ざっくばらんな意見交換から始めましょう」と呼びかけが行われたことでした。意見交換会で多く出された意見は、東京都によって「コンパク

【参加団体】 合計 13 団体

新日本スポーツ連盟東京都連盟、自由法曹団東京支部、東京地評、東京自治労連、東京民医連、革新都政をつくる会、東京革新懇、東京母親大会連絡会、日本科学者会議東京支部、臨海都民連、民青同盟東京都委員会、新日本婦人の会東京都本部（呼びかけ団体）、東京都教職員組合（参加団体）

トな計画」「経済効果がある」「環境に優しい」などのうたい文句が大量に宣伝されている状況において、招致・開催計画を検証し、その問題点を都民に知らせることの必要性でした。そして、経済効果問題などは、専門家の力を借りる必要もあり、様々な面から検証を進めるために、協力を広げることも重視して取り組まれました。このことは、集会当日に広範な団体・個人から160名が参加する原動力となりました。

集会では、金子貞吉中央大学名誉教授が都が主張する「経済効果」についての検証を、松村友昭東京都オリンピック招致特別委員会委員（日本共産党東京都議会議員）が招致活動の実態についての報告を、和食昭夫新日本スポーツ連盟理事長がオリンピック運動の意義と開催計画の矛盾についての報告をそれぞれ行いました。

また、この集会は、ＩＯＣの評価委員の来日にあわせて開催したため、オリンピック招致をめぐる一連の報道の中でも大いに注目され、当日はテレビ局や新聞社等の取材も行われました。

さらに、この集会に注目したＩＯＣ評価委員は、集会実行委員会と面会し、反対の理由の聞き取りを行うという画期的な結果にも結びつきました。

４・１４集会を代表し、ＩＯＣ評価委員に面会

２０１６年オリンピック東京招致になぜ異議を唱えているかを説明

記者会見には多くのマスコミ関係者が集まり、注目度の高さが感じられます

新日本スポーツ連盟東京都連盟は、４月１４日に開催された「異議あり！２０１６石原オリンピック」集会の実行委員会を代表して、ＩＯＣ（国際オリンピック委員会）評価委員と面会しました。面会では、都連盟井上事務局長が、なぜ、私たちが２０１６年の東京招致に異議を唱えているのか、その理由についてＩＯＣ評価委員に対して説明を行いました。この面会と、４・１４集会、４月１７日の晴海埠頭アピール行動などの一連の行動は、マスコミも大きく注目し、その様子などがテレビ、ラジオ、新聞等で報道されました。

オリンピック運動に共感する立場を明確に

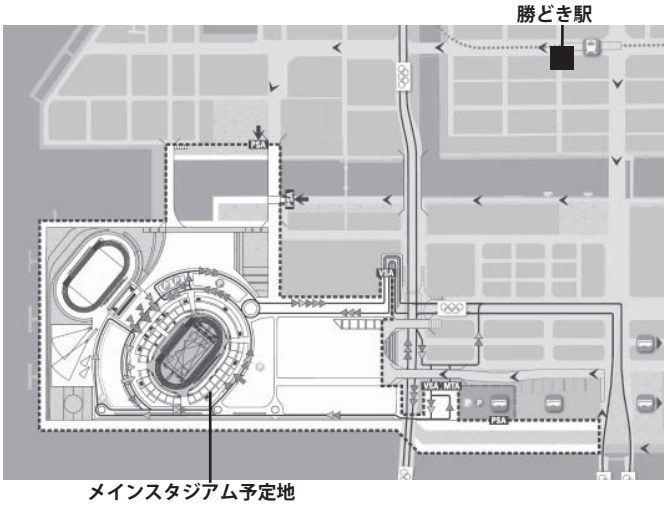
井上事務局長は、まず、「４・１４集会は、『オリンピズムの根本原則に共感し、その発展を願うが、今回の招致については異議がある』ことを一致点に開催された」ことを説明。新日本スポーツ連盟の活動は、スポーツの真の発展を願い行動するものであり、この立場から、今回の招致・開催計画について異議を唱えている他の団体と共同して集会を開催したことを強調しました。

そして、３点にわたって具体的な問題点について説明を行いました。（詳細を３、４ページに掲載しました。）

2016 BID Objection! 1 開催計画には 「無理」と「ごまかし」 がある

「無理」がある

東京の開催計画の最大の特徴は、９０％の施設が８ｋｍ圏内にあり「世界一コンパクト」であるとされています。しかし「コンパクト」にこだわるあまり、選手の安全や観客の輸送などの面で多くの問題があります。例えば、晴海に建設されるメインスタジアムは、敷地が非常に狭く、しかも会場への公共交通のアクセスは、地下鉄大江戸線勝ちどき駅より徒歩で２０分もかかり、１０万人の観客の移動に混乱が予想されます。さらには、トライアスロンのスイム、水泳の１０㎞マラソンの会場となるお台場の海は現在水質汚染のために「遊泳禁止」区域とされており、選手の安全面が危惧されます。東京都は２０１６年までに浄化するといっていますが、はなはだ疑問です。これらのことは、「８ｋｍ圏内」にこだわることから生まれてきている問題です。



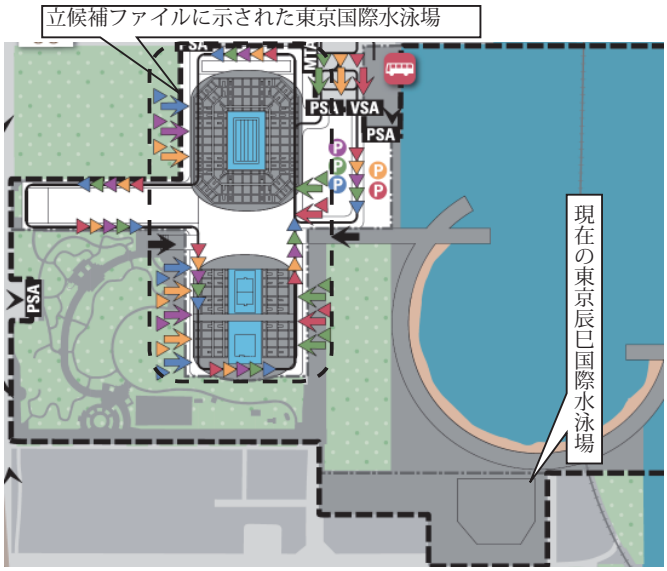
現在のメインスタジアム予定地

「ごまかし」がある

次に、施設の７０％は既存の競技会場であるとされていますが、施設建設・改修計画の詳細を検討すると、新設の施設は、オリンピックスタジアム、バレーボールを予定する代々木アリーナ、ボートやカヌーの海の森水上公園、カヌー・スラロームの葛西臨海公園、セーリングの若洲オリンピックマリーナとなっています。しかし、計画で既存の競技会場をとなっている夢の島アリーナ（Ａ、Ｂ、Ｃの３施設）、同じく夢の島のアーチェリー、馬術会場、現在ある辰巳国際水泳場のすぐ隣の辰巳の森海浜公園に作る予定の二つのプール、大田区の中央海浜公園に作る予定の大井ホッケー会場、有明のテニスの森に作る観客５千人収容のインドアコートなどは、実質的には「新設の競技会場」そのものであり事実に反するといわねばなりません。

これが「既存の会場」？！

水泳会場となる「東京辰巳国際水泳場」（立候補ファイルより）

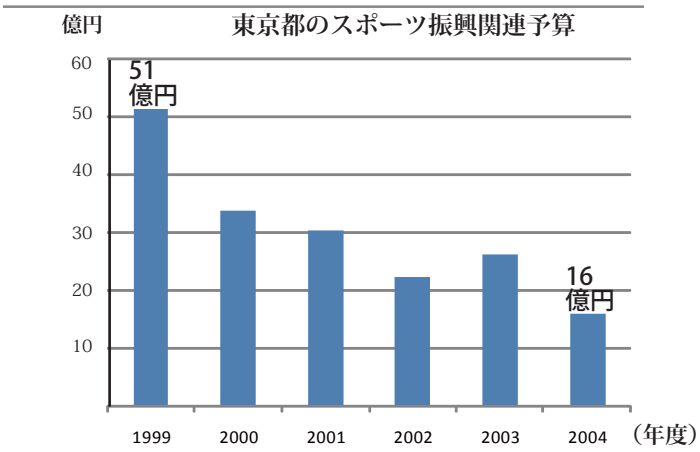


現在の東京辰巳国際水泳場
立候補ファイルの建設予定地は現在は辰巳の森海浜公園

以上のような無理とごまかしの開催計画となる背景には、７兆円との試算もされている道路整備中心とした大規模開発計画である「１０年後の東京」計画を、オリンピックの開催を口実に加速したいという石原都政の願望があります。都民のくらし、福祉、医療、教育を犠牲にして進める大開発にオリンピックを利用することは許せません。

2016 BID Objection! 2 石原都政は、都民のスポーツ振興を切り捨ててきた

石原都知事になった１９９９年から２００４年までに東京都のスポーツ予算は、５１億円から１６億円へと３０％に削減されました。公共スポーツ施設の使用料の値上げ、老朽化施設や施設不足を放置するなど、都民が気軽にスポーツを楽しむ条件は一貫して切り捨てられてきました。さらに２００８年７月に東京都が策定したスポーツ振興基本計画においても、施設整備の計画は明確にされていません。こうしたスポーツ振興策を展開する東京都は、オリンピック憲章が明記する「スポーツを行うことは人権のひとつである」との立場から見てもオリンピックの開催都市の資格に欠けていると考えます。



2016 BID Objection! 3 石原東京都知事の政治理念は オリンピックの目標とは相容れない

石原東京都知事は、これまで、くりかえし、人種差別や人格を否定する発言を行ってきました。そのいくつかを紹介します。

彼は中国のことを、わが国では中国の蔑称とされている「シナ」とよび中国外務省からの抗議も無視しました（０３年７月１８日）。また「北京五輪はヒトラーのベルリン五輪と同じ意味をもつ」としてボイコットを主張しました（０５年６月）。身体障害者について「この人たちには人格というものがあるのか」と発言しています（９９年９月）。これらは、オリンピック憲章が明記する、人種、宗教、政治、性別に基づくあらゆる差別を許さないとする理念とは決して相容れないものです。また、石原東京都知事は、わが国においても海外においても最も好戦的な理念を持つ政治家の一人としてよく知られておりオリンピックの平和の理念からも資格が問われると考えます。

ＩＯＣ評価委員からは、「この場は協議や交渉の場ではありませんので、こちらからの回答は行いません」という説明がされ、指摘した問題点に関する意見などは話されませんでした。しかし、説明については熱心にメモをとり、資料を受け取っていました。また、４・１４集会や新日本スポーツ連盟について、いくつかの質問がありました。

１０月２日には、コペンハーゲンで開催されるＩＯＣ総会において、開催都市が決定されることになります。私たちは、東京都が真にスポーツの発展とオリンピック運動への貢献をめざす行政を展開することを求めつつ、今後も都のオリンピック招致について検証と働きかけを行います。　（編集部）

開催都市は 10 月 2 日に決定されます。

東京都連盟は今後も都の
オリンピック招致について
検証と働きかけを行います

2016 年の「立候補都市」として選出・承認された 4 都市

新しい年度の幕開けとともに、トラックシーズン到来！
春季陸上競技大会

東京ランニングクラブ

独特の緊張感が漂う特別な大会

４月４日、２００９年春季陸上競技大会が、東京オリンピックの際に作られた駒沢陸上競技場を舞台に、春の麗らかな陽気の下、開催されました。今大会には中学生も含め６６５人のアスリートが集まりました。

本大会は、個人種目では 100 メートル走などの短距離走をはじめ、1500，5000，10000 メートル走などの中・長距離、走り幅跳びや、砲丸投げ等の、跳躍種目と投擲種目があり、団体種目として４人制のリレーがあります。それぞれ中学生、高校生、一般、壮年とにわけて表彰を行いました。

春のトラックシーズンの幕開けとされている本大会には、毎年新入生にとって初めて臨む競技大会でもあり、経験者にとってもこれを皮切りに冬のロードレース中心の大会日程からトラック競技中心へ切り替えるポイントになる大会なので、特別な意気込みで参加される方も多いようです。

初の競技会にはハプニングも…

その一方、この競技会は本年度初めてのレースという事で緊張したり、いろいろハプニングが起きることが多い大会です。今回も「ロッカーが開かなくなってしまった。」と役員室に駆け込んでくる選手が３人もいました。他にも、リレー競技で出場する９チームのうち２チームが出場辞退する事になり、それぞれの走るレーンを急遽くじ引きで決めるという経験もするなど、運営のほうも大忙しでした。

また、競技役員の方々には経験を積まれた方がたくさんいるので、困った時は聞いてみたり、相談する事も必要だと感じています。（東京ＲＣ・金子）

09 年度の講習会がスタート！　幅広い世代やレベルの方から大好評
月例ランニング講習会

東京ランニングクラブ

「走力向上」と「故障予防」を基本に、楽しく走り続けるために必要なスキルとノウハウを教える「月例ランニング講習会」も今年で６年目。今回より東京ＲＣ主催、「快体健歩ランニングクラブ」を主管として開催しました。

09 年度第１回目の講習会は待ちが出るほどの応募があり、初心者から経験者まで、年齢も 30 代から 60 代までが参加して４月 26 日 (日) に東京・江東区で開催されました。

質疑も活発で、みんな走る事に真剣

今回のメインテーマは「基本フォーム」「目標設定・トレーニング計画」です。まずは深川北スポーツセンターで佐々木誠講師による講義。続いて木場公園に場所を移し、実技練習が行われ、快晴の中、みな気持ちいい汗を流しました。また、シャワー、昼食後には懇親会を兼ねた「Q&A タイム」があり、活発に質問や疑問が出され、参加者の熱心さが伝わってきました。

初心者からは「基礎を教えてもらってうれしかった」、「走る楽しさが少しわかった気がする」という感想が聞かれ、経験者からは「本や雑誌ではわからなかったことが実際に見て、聞けてよかった」「一人の練習では気づかないことを教えてもらえて勉強になった」、「今日のドリルは自分の練習にすぐ生かせる」という声が寄せられました。それぞれが自分のレベルに合わせて何かを感じ、何かを得てくださった様子にスタッフ一同、今後の講習会に向けて気を引き締めました。

次回は５月 17 日 (日)。メインテーマは「坂道や階段を利用したトレーニングとアップダウン攻略法」などです。

(月例ランニング講習会・スタッフ
竹中はる美)

東京水泳協議会第 36 回総会とその後の活動

活発な議論の総会
終了後は平和の問題も

３月２９日、江東区文化センターにおいて、第３６回総会が開催されました。クラブ代議員、運営委員、傍聴者あわせて約 50 名の出席で、パソコンの活用法や財政問題などについて活発に討議が行われ、新運営委員を選出しました。

総会終了後には、東京大空襲戦災資料センターの見学を行い、スポーツと平和について学びました。見学参加者からは、「未来の子供たちのためにも私たちは『戦争反対』をずーっと訴えていかなければならない」などの感想が寄せられました。

大会・教室・海と目白押しの活動

今期の活動は、４月１９日の第１回オールエイジ水泳大会（辰巳）を皮切りに、５月には第１７回辰巳水泳大会（辰巳）、７月には海の水泳教室と続きます。運営委員会では、これら目白押しとなっている行事に取り組んでいます。また、新たな地域でも水泳教室を開催することを検討していますが、会場確保を要請した立川市では、スポーツ振興課長から「水泳教室は地元水泳連盟も行っているので新たな団体は困る」「指定管理者制度の導入が準備されており、コース貸しの制度は廃止することとした」という説明がされました。協議会のない自治体において、公共施設の公平・公正な管理運営に重大な問題が発生していることが明らかになりました。

また、運営全体の問題としては、都立施設の利用料高騰などにより東京水泳協の財政状況は近年著しく悪化しており、この改善も緊急の課題となっています。

以上のように課題はたくさんありますが、「泳ぎたい」という要望に少しでも幅広く応える活動に、一つ一つ着実に取り組んでいきたいと思います。

（東京水泳協　宮久保）

第 36 期東京水泳協二役
運営委員長　　竹内 正彦
副運営委員長　金村 恵子
同　　宮久保 加乃子

参加者の願いに応える新たな大会が、和やかな雰囲気の中始まる
第１回オールエイジ水泳大会

東京水泳協議会

小学生から 80 代まで幅広く参加

すがすがしい若葉、初夏を思わせるような 4 月 19 日、辰巳国際水泳場で第 1 回オールエイジ水泳大会が開催されました。「80 代から今年 1 年生になったばかりの子どもまで、総数四百数名の参加者、第 1 回目にしてこれだけの参加者ということは、数年前までの東京水泳協議会には考えられないこと、そして、今日は第 1 回の大会ですから年齢区分での第 1 位の人は全員大会記録保持者となるとてもラッキーな参加者です」との運営委員長のユーモアに富んだ開会挨拶でした。

80 代でも現役で泳いでいるスイマーに若い人たちは感動し、飛び込み台に立って泣き出した新 1 年生に、やさしく励ます指導員、泣きやむのを静かに待っている大会役員の様子‥など、和やかで楽しい大会となりました。

多くの参加希望者に応えたい

例年 11 月 3 日には年齢別水泳大会が行われますが、非常に人気が高く、毎回多くの参加希望者をお断りせざるを得ない状況をなんとか改善したい。ジュニア部門を強化したい。この 2 点から東京水泳協議会は時間をかけて討議を深めてきました。希望は 10 月開催でしたが、会場との関係で 4 月に第 1 回大会を開催することになりました。大会参加選手にも大会運営に参加していただき、今後について意見も出していただきました。改善すべき課題もありますが、この大会を年齢別大会のように大きく発展させていきたいと思っています。

（東京水泳協・宮久保）

スタート前は緊張します…。

雨上がりの晴天の下、好プレー続出の素晴らしい大会が開催される
春季ソフトボール大会

ソフトボール協議会

１４チームと定員いっぱいのなかで迎えたこの春季ソフトボール大会は初日の３月２１日は雨のために流れ、２９日に第１日目を終え、振り替え日の４月２６日（日）に中野区立上高田野球場（人工芝）を借りて残り試合と交流会大会を開催した。前日の大雨の影響もなく、当日は晴天に恵まれ準決勝（八千代ＳＣ、ウイングス、芝山ロックス、ＺＥＲＯ）決勝を行いました。

決勝戦は八千代ＳＣ×芝山ロックスで行われ、好プレーの続出により見ている人たちに感動を与えた好試合でした。結果は４－０で八千代ＳＣが勝利しました。

試合内容といい、好プレーが続出したことといい、ソフトボールの奥深さといい、素晴らしい好試合でした。

優勝した八千代SCクラブはこの９月に開催される東日本大会に東京代表として推薦されます。

（大会審判長・小野　栄一）

第１回

Welcome to OUR SP☺RTS Club

クラブ紹介

新宿区連盟
東京卓球協議会

四谷（よつや）クラブ (卓球)

団結心が強いからこの不況でも参加者は減っていません

クラブの概要

結成年：1985 年 11 月
人数：男性 10 人、女性 15 人
　　計 25 人
代表者：井田　征一さん（６６）
活動：新宿区・四谷小学校
木曜・日曜の夜の週２回の練習日

☆結成したきっかけ

今から 24 年前、当時新宿にも新日本スポーツ連盟 (当時は新体連) を作ろうという動きがありました。卓球としても連盟所属のチームを作ってスポーツ連盟を広げていくことを目的に結成されました。練習場所にもなっている四谷小学校のＰＴＡの卓球部ＯＢが中心になり、他のクラブで卓球をしていた人にも呼びかけ、輪を広げました。また、地域に根差したクラブになろうと、地名をとって「四谷クラブ」と名づけました。

☆クラブの特徴＆アピール

「老若男女、初心者も上級者も平等にみんなが楽しめるクラブ」をモットーに来るもの拒まずで、どんな人も温かく迎え入れてきました。創立当時は区内の試合でもなかなか試合では勝てない状況でしたが、みんなの意見を自由に出しあい、練習も工夫して行った結果、現在ではメンバー個人も全体もレベルアップしてきました。

総会を毎年開き、そこでも、みんなで自由闊達に一年間の方針を決めています。この雰囲気に誘われ、クラブメンバー以外も練習に訪れます。また、年２回、オープンミニ大会も開催して多くの参加で賑わっています。

☆活動の発展の秘訣を
メンバーの方に聞きました。

★上手な人が丁寧に教えてくれる。他のクラブも回ったが、ここが一番。
◆初心者もすぐみんなと同じレベルになるから練習試合でも、とても面白くなる。相手の成長を喜べます。
●みんな近くに住んでいるので、練習後に一緒に食事と一杯が楽しめる。談論風発、何でも話せる雰囲気です。

練習後に移動した先の料理屋でもお話を伺いましたが、本当にみなさん仲良く、卓球を楽しんでいるな、という印象でした。

（編集委員・渡辺）

レディースも和気あいあい、且つ真剣です

幅広い年代の仲間が集い、異世代コンビも出現

[OUR　SPORTS・この人に聞く第 10 回]　東京都野球連盟相談役　**森本　外光**（そとみつ）さん

「8 年ぶりの東京での全国祭典を必ず成功させたい」

☆：**森本さんにとって野球の魅力とは？**

森本：うまく言えないんですが、ヒットを打った時のバットの感触が気持ちいいですね。また、勝利の喜びをみんなで分かち合えるのがいい。そのために、必死に練習に取り組むわけですが、それがまた楽しいです。

☆：**現在はシニア（60 歳以上の方）リーグにも参加されていると聞きましたが、どのようなものなのでしょうか？**

森本：東京都還暦軟式野球連盟のリーグ戦に「フィフティーズ野球クラブ」というチームで参加しています。このリーグには 54 チームが参加しています。私のチームに 80 歳過ぎの方がいますが、私より速く走るんです。みんな野球の大好きな人たちなので、野球をもっとやりたいと考えていますが、最近はさらにグラウンド確保が難しくなりました。

☆：**原因は何にあると考えますか？**

森本：直接の原因は指定管理者制度が導入され、登録団体の優先使用がなくなり、定期的なグラウンド確保が難しくなったことです。しかしながら、体育協会はその中でも特別に優先使用ができるので、他の団体が圧迫されています。このような不正常な状態を正し、グラウンドを他の団体にも使いやすくするために、新日本スポーツ連盟として , 協力してくれる地域の区議の方と一緒に体育協会と交渉もしています。

☆：**東京都野球連盟として、どのような活動に取り組んでいるのでしょうか？**

森本：東京都野球連盟の活動は、３つの地区のリーグ戦の運営が主なものになります。東京では南部、中西部、北部（板橋）の３つの地域で約 35 チームによりリーグ戦が行われています。その３地域以外でもやりたいんですが、距離が離れているチーム同士の試合を組むには会場確保が難しく、実現できていません。それでも、参加チームの方からは定期的に試合をこなせるのは大変ありがたいという声があり、愛好者の要求にこたえるものになっていると思います。

森本　外光さん　プロフィール

1937 年生まれ。北海道苫小牧出身。実家は農家で中学生の頃から農作業の合間に時間を見つけては友人と野球を楽しむようになる。東京の高校に進学後は、野球を継続する事は出来なかったが、47 歳の頃に移った職場で野球チームを作って再開。その後、杉本博之さん（現東京都野球連盟評議員）に誘われ、板橋の野球チームの「フレンズ」に加わり、同時に板橋の野球連盟に加わる。その後、審判員も本格的に努めるようになり、現在まで多くの地域や団体の試合で審判を務めてきた。現全国野球連盟理事（関東ブロック担当）

また、現在はワンデー大会を月に一度行っています。これはトーナメント方式で一日で行われるもので、ネットでの申し込みが多く、一昨年から継続しています。もとは連盟外の方からの要望で始めたのですが、我々も新しい人たち、特に若い人たちと野球の輪を広げたいと考えていたので、試行錯誤しながら始めました。実際にやってみると、次回も参加を希望するチームも多く、効果があるなと感じています。

☆：**今後の抱負を聞かせてください。**

森本：来年には※全国スポーツ祭典野球大会が、８年ぶりに東京で行われることになったので必ず成功させたいですね。東京は整備された球場が多いので、大変楽しみにされているようです。

８年前の東京での全国軟式野球大会では、仕事の合間を縫って平日の日中に役所に通って会場確保に奔走していました。今もその会場確保に走り回っています。他のメンバーと様々な作業を分担していますが、平日の日中動ける条件があるのが自分くらいなので、大変ですね。財政的にも不安があり、グッズの販売などにも苦心しています。

それでも次の世代を担う若い人たちに野球の楽しさ、素晴らしさを伝えるためには苦労は厭わないですよ。それに、野球とのつながりが一度切れてしまうと、それを再び戻すことはとても難しいですからね。過去に神奈川県の野球連盟の再建に携わった時には本当に大変でしたし、一つのクラブの場合でも若い世代を迎えてチームを存続するには特別な努力が必要です。最近は特に若い人がスポーツをやりにくい状況ですし、団体種目である野球は非常に難しい。だからこそ、野球をやりたいと願っている若者と共に野球をする喜びを分かち合えるように、これからも野球連盟として頑張ります。

聞き手：編集委員・渡辺

※全国規模の大会は、毎年5月に静岡で開催される「選抜大会」、11 月頃に開催される「全国軟式野球大会」（隔年で「全国スポーツ祭典野球大会」）の 2 つがあり、各地から勝ち上がってきた 16 チームが頂点を目指します。

東京都連盟　第43期　第1回理事会報告

東京都連盟第４３期の第１回理事会が、４月１３日開催されました。理事会では、各理事の自己紹介が行われた後、今期の取り組みの概要と理事会の開催スケジュール、専門部配置等について論議が行われました。専門部は、スポーツ活動・組織部とスポーツ権運動部を設置し、前期まで設置されていた総務部については、事務局がこれを行うこととしました。

スポーツ活動・組織部

（担当理事：萩原、北川、小川、花田、村上、矢上）

新日本スポーツ連盟の基本方針である「多様で魅力あるスポーツ活動とその組織化」を都連盟において具体化します。都連盟では、各組織が自立し、様々なスポーツ活動と組織化に取り組んでいますので、各組織がそれぞれの地域・種目でその力を発揮するために組織づくりや活動のサポートを行います。そのために、新しい理事が多い今期の都連盟理事会においては、各組織の到達点や課題を丁寧に把握し、認識を共通化することも重視します。また、東京スポーツ祭典や東京春季スポーツフェスティバルの開催方針、未組織の地域・種目についての取り組みなどを行います。

スポーツ権運動部

（担当理事：金子、阿部、磯、小林、佐藤、年森、宮久保、吉田）

スポーツを行うための条件整備、平和の問題について取り組みます。行政に対する働きかけとして、前期は、施設整備を求める署名活動に取り組んだほか、対都交渉などを行いました。指定管理者制度や施設老朽化の問題など、スポーツをするための最低限の条件の一つである施設維持・整備の問題は、緊急の課題が山積みとなっています。

平和の問題では、今年も東京反核平和マラソンに取り組みますが、その他にも平和の取り組みを検討します。

事務局

（担当理事：井上、板垣、佐藤、森、渡辺）

理事会・専門部の調整、財政執行、事務所の維持・管理などを行います。また、機関紙「OUR SPORTS 東京」を発行します。

東京都連盟　経過と今後の予定

4/13 第１回理事会
4/14「異議あり！ 2016 石原オリンピック」集会
4/17「異議あり！ 2016 石原オリンピック」アピール行動
4/18 全国連盟スポーツ権担当者会議
4/19 ＩＯＣ評価委員面会・記者会見
4/22 自由法曹団打ち合わせ
4/24 都スポーツ権運動部会
4/27 三役会議
4/29 東京卓球協総会（井上）
4/30「異議あり！ 2016 石原オリンピック」第５回実行委員会
5/6,/7 国民平和大行進
5/8「OUR SPORTS 東京」編集委員会
5/11 第２回理事会
5/13 自由法曹団打ち合わせ
5/16,/17 全国連盟理事会
5/19 自治労連打ち合わせ
5/21 オリンピック連絡会
5/24 北区連盟総会
6/4 「OUR SPORTS 東京」編集委員会
5/11 第３回祭典事務局会議
5/13 第３回理事会

編集後記

08 年度前半までは、東京都連盟の「アワースポーツ」といえば、気まま、いつ出るか分からない、都連盟事務局長が忙しいからしようがない、という定評であった。当時、私は理事長であったが、何か私にも出来ることはないか、都連盟の持っている多くの財産・宝を紙面に載せること、共有することで、さらにその波及があることを信じて、やみくもに毎月出すことを確認し、それを編集委員会システムで集団的に作ることにした。そして、この実務を若手・渡辺良治さんが担当した。内容は、ぎっしりすぎる感はあるが、多種目・多地域の都連盟ならではの記事・書き手多数であることに免じて、寛容を！

この人に聞く・インタビューも、08 年 10 月号・松下民子さん（東京卓球協）、11 月号・三浦徹さん（中野区連盟副理事長）、12 月号・菰田祐治さん（杉並バスケットリーグ）、09 年２月号吉田巴蔵さん（練馬区連盟理事長）、3 月号・金子正芳さん（東京ランニングクラブ会長）、4 月号・萩原純一さん（東京都連盟理事長）と、多士多彩な登場者である。東京都連盟のエッセンスを有する人たちに相見、その息ぶきを記事にしてきたのも渡辺さん。アワースポーツは、無限に発展すべき都連盟の各組織の媒体である役割をこれからも。（伊賀野）

都連盟スポーツカレンダー 2009 年 6,7 月

都種目組織	期日	行事名	会場
卓球協議会	6 月 25 日	綾瀬トリオマッチ	東京武道館
	7 月 7 日	第 26 回ハローレディース団体戦	東京体育館メイン・サブアリーナ
	7 月 16 日	第 7 回ラージボール男女ダブルスミックス＆シングルス	東京武道館
	7 月 28、29 日	関東オープン中高生大会	駒沢体育館
ランニングクラブ	6 月 7 日	ふれあい赤羽駅伝	荒川ランニングコース
	6 月 21 日	月例ランニング講習会	深川北スポーツセンター・木場公園
	7 月 19 日	第 11 回ナイター陸上競技大会	夢の島競技場
	7 月 26 日	月例ランニング講習会	BumB・研修ルーム B
バドミントン	6 月 27 日	第 63 回クラブ対抗リーグ戦	大森スポーツセンター
	7 月 24、25 日	夏季高校生オープン大会	駒沢屋内球技場
野球連盟	6 月 28 日	東京選抜大会	駒沢公園軟式野球場
	7 月 19 日	春季大会	駒沢公園軟式野球場
	7 月 26 日	リーグ戦	駒沢公園硬式野球場
ソフトボール	6 月 14 日	春季フェスティバル	駒沢公園軟式野球場
ウォーキング	6 月 20 日	高幡不動から南平丘陵を歩く	京王線高幡不動駅集合
	7 月 26 日	新宿の公園めぐり（定期総会）	ＪＲ高田馬場駅 集合

地域連盟・地域組織	期日	行事名	会場
北区連盟			
バレーボール	6 月 14 日	場第 34 回春季ミックスバレーボール大会・決勝 3, 4 部	桐ヶ丘体育館
	6 月 21 日	第 34 回春季ミックスバレーボール大会・予選2部	西浮間小、堀船小体育館
	7 月 26 日	第 34 回春季ミックスバレーボール大会・決勝 2 部	桐ヶ丘体育館
	7 月 19 日	第 34 回春季小学生バレーボール大会	十条台小体育館
	7 月 19 日	第 34 回春季ミックスバレーボール大会・予選1部	西浮間小、堀船小体育館
	7 月 26 日	第 34 回春季ミックスバレーボール大会・決勝 1 部	桐ヶ丘体育館
テニス	6 月 4 日	第 34 回春季硬式テニス平日大会	桐ヶ丘体育館
	6 月 21 日	第 34 回春季硬式テニスダブルス大会	桐ヶ丘体育館
野球	6 月 7, 21 日	リーグ戦	中央公園野球場、新荒川大橋野球場
	7 月 5, 19 日	リーグ戦	中央公園野球場、新荒川大橋野球場
水泳	7 月 23 日	第 47 回北区スポーツ祭典水泳初心者教室	王子プール
卓球	6 月 21 日	第 34 回春季シングルス卓球大会	十条台小体育館
ランニング	6 月 28 日	月例赤羽マラソン	岩淵堤防土手
	7 月 26 日	月例赤羽マラソン	岩淵堤防土手
練馬区連盟			
硬式テニス	6 月 6,13,27 日 7 月 4 日	第 16 回指導員養成研修会	夏の雲公園庭球場
	7 月 26 日	第 41 回練馬スポーツ祭典	土支田庭球場
卓球	6 月 14 日	夏季卓球大会	大泉学園町体育館
ソフトテニス	7 月 25, 26 日	第 32 回ソフトテニススクール	高野台運動場（庭球場）
板橋区連盟			
卓球	6 月 20 日	板橋スポーツ祭典卓球大会	赤塚体育館
	7 月 18 日	板橋スポーツ祭典卓球大会	上板橋体育館
	7 月 25 日	板橋スポーツ祭典卓球大会	赤塚体育館
テニス	6 月 27 日、7 月 4、20 日	板橋スポーツ祭典テニス大会	加賀テニスコート
	7 月 10 日	夏季レディース大会	新河岸コート
バレーボール	7 月 19 日	板橋レディースバレーボールオープンリーグ大会	赤塚体育館
杉並区連盟			
卓球	7 月 20 日	団体戦	高円寺体育館
	7 月 30 日	ジュニア大会	荻窪体育館
バレーボール	6 月 28 日	春季大会	荻窪体育館
バスケットボール	6 月 14 日	春季大会	永福寺体育館
中野区連盟			
卓球	6 月 21 日	ダブルス・ミックス大会	中野体育館
テニス	6 月 1、15、22 日	テニス教室Ａ・Ｂコース第 1 期	中野体育館
	6 月 29 日、7 月 27 日	テニス教室Ａ・Ｂコース第 2 期	中野体育館
	6 月 4, 11, 18, 25 日	テニス教室Ｃ・Ｄコース第 2 期	中野体育館
	7 月 2, 16, 30 日	テニス教室Ｃ・Ｄコース第 2 期	中野体育館
	6 月 4,18,25 日	テニス教室Ｅ・Ｆコース第 1 期	哲学堂テニスコート
新宿区連盟			
バドミントン	6 月 27 日	第 23 回新宿区内リーグ戦	新宿スポーツセンター
卓球	7 月 19 日	新宿 ABC=XYZ 団体戦卓球大会	新宿スポーツセンター
大田区卓球協議会			
卓球	7 月 26 日	大田祭典	大森スポーツセンター
多摩地区			
卓球	6 月 6 日	多摩スプリング団体戦	東久留米スポーツセンター
ランニング	6 月 14 日	月例多摩川ロードレース	多摩川・国立ランニングコース
	7 月 12 日	月例多摩川ロードレース	多摩川・国立ランニングコース